

輿地誌略拔萃習字本

初編

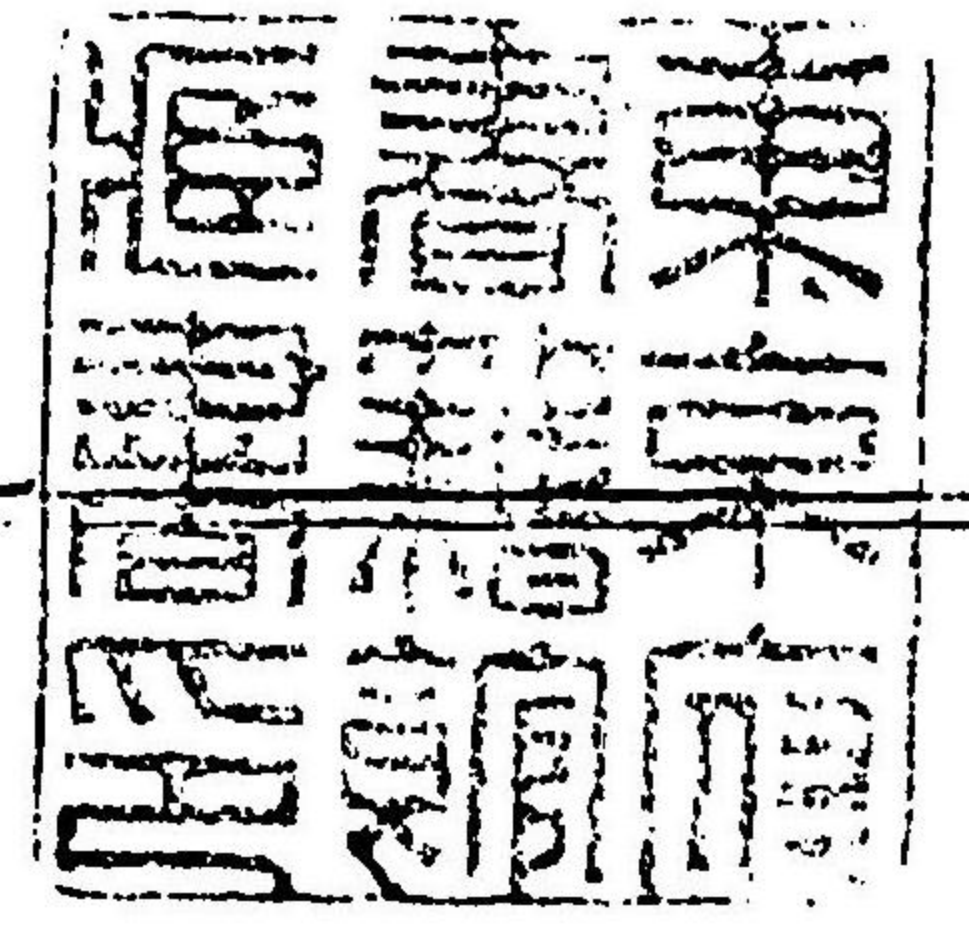
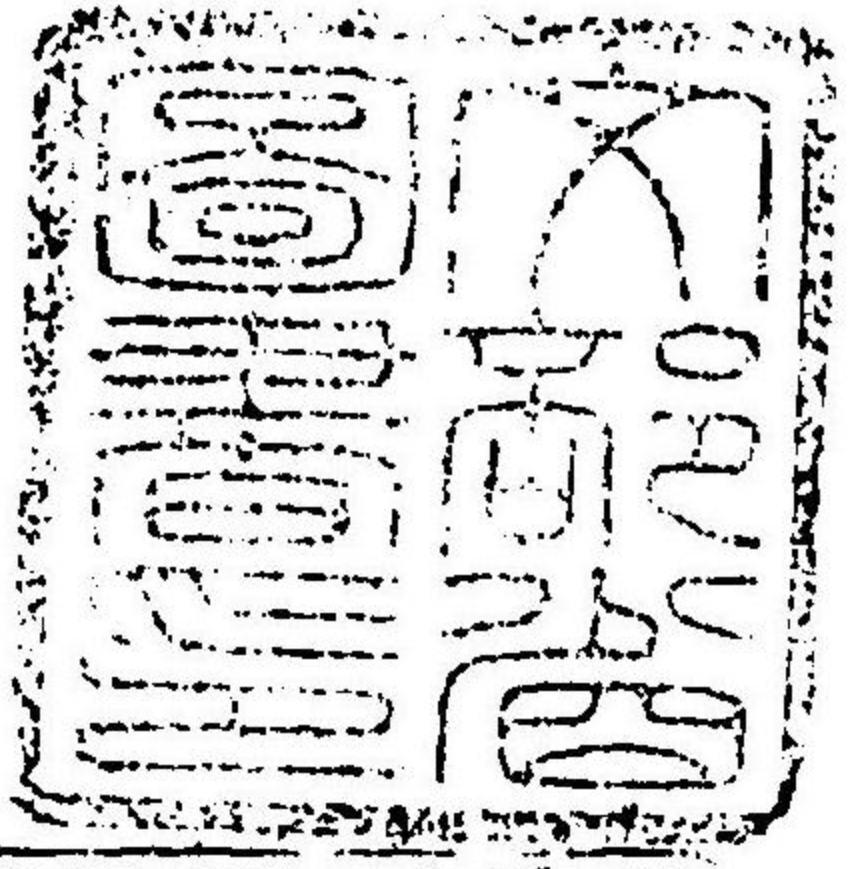
二



特56

72

共
三本



興地 徳畧 援 苜 智 言 本 卷 二

鴉片の支那 國民自ら

之を好む 政府も 之を

禁めざる 能はば 均美園

興地 徳畧 援 苜 智 言 本 卷 二

戒心カイを可レシき所レ存リ

上海シヤンハイハ南レ京レ如レ南七十

海里レ存リ 長崎より海路大凡三百二十海里あり

揚子江ヤウシキヤウは支シ流リヤウ之レ沿ソフ

て沂サカホは此地二十四年
前始りて英國の爲
開きし比ハ人煙甚
多し大正十一年ハ

興其言界書守本卷二

留^{ホウ}る^{エキ}の^ト故^トに^{ハン}好^セむ^イ者^シ人^ニ
 口^ク五^ノ十^ノの^ノ家^ノあ^リる^カら^シに^シる^カ船^ヲ
 貿^{ホウ}易^ニ場^ノの^ノ第^ニ一^ノを^ト
 大^オ田^ノ若^ノ此^ノ地^ノの^ノ出^ノ入^ノ他^ノの^ノ千^ノ

二^ニ港^ノに^シて^シ船^ノ數^ノを^ト一^ノに^シて^シ敵^ト
 自^{ハク}ら^シて^シ類^ノ帝^ノ類^ノ及^シて^シ家^ノを^ト
 百^{ヒャク}貨^ノ及^シて^シ色^ノ料^ノを^トお^シて^シる^カ
 之^ノ市^ノ店^ノお^シて^シ接^シし^てる^カ路^ヲ

興地論 釋釋宇林卷二 丹波書屋藏板

旌香甚一歐羅巴人
 の家屋に清潔なる
 もの國人の家屋に皆
 矯く市街狭く
チイサ シ セイ ケツ

汗穢なるもの多し
 月ハ殊と臭氣甚し
 人の健康を害する
 少し又徳方ニ海
フカイ ショウ スクナ

東洋諸國書字并本卷二
 大倉書屋藏版
 五

染キヨの便マシより運タシ河カ
 通トウしと内地ウチノチの運タシ輸ユ
 貨物カモノの出入シュツニュウ甚サカシ悉シツな
 と初ハジメより此地ココノチに至いたる者

商カウ街ヅの熱アツ鬧ワザワザ舟フネ楫カヌエは
 繁シブキ多シ支ササ那ナ官クニノミヤ人ヒト乃ハ
 金カネ鼓ツを鳴ナゲくは来キ
 婦メノ人の足タラシは織オリ小

興地誌羅薩守林卷二

坊後書屋藏

六

興地誌羅薩守林卷二

今も不見る所盡く
 去風の奇異たるを怪
 可し
 天津を北京の東南

三十三里北江の河口
 倚り海を沿て所
 二十七里其南
 岸に在る川港なるを

氣^キ 殊^{ロウ} の 一^{カン} 暑^{シコ} 者^{トモ} 甚^キ
 一^キ 夏^{ナツ} の 寒^{サムイ} 温^{ユク} 像^{ガタ}
 百^{ヒャク} の 度^{タク} の 遠^{トウ} 乎^ヤ
 有^{アル} り 冬^{フユ} 自^{ヨリ} 河^{カハ} 水^{ミヅ}

常^{トコ} の 學^{ガク} 好^{コト} を 結^{ムス} 心^{ココロ} に
 自^{ヨリ} の 至^キ り 消^{ユク} せ 人^{ヒト} の 口^{クチ}
 百^{ヒャク} の 年^{ネン} 有^{アル} り 好^{コト} 多^{タカシ} 甚^キ
 有^{アル} り 都^ト 有^{アル} り 名^ナ の 多^{タカシ} 乎^ヤ

市街^{シガイ} 柳^{オホム子} 汙穢^{クワイ} 存^{コト} 存^{コト}
 多^タ 一^{イチ} 以^{ミナト} 港^{ミナト} の 十^{ジュウ} 年^{ネン} 前^{マエ}
 多^タ 美^{エイ} 國^{コク} と 通^{ツウ} 商^{シヤウ} の 為^{タメ}
 りしを 聞^キ き 次^ジ 第^{ダイ} 二^ニ 若^{ニヤク}

國^{クニ} の 高^{ヒサシ} 船^{セン} 輪^{リン} 轉^{テン} 生^{シヤウ} 存^{コト}
 雖^モ 亦^モ 貿^{サウ} 易^イ 甚^{シキ} 感^{カン} 大^{ダイ} 存^{コト}
 多^タ 一^{イチ} 以^{ミナト} 港^{ミナト} の 十^{ジュウ} 年^{ネン} 前^{マエ}
 多^タ 美^{エイ} 國^{コク} と 通^{ツウ} 商^{シヤウ} の 為^{タメ}
 りしを 聞^キ き 次^ジ 第^{ダイ} 二^ニ 若^{ニヤク}

存る所の山島一々
 長さ四里幅三里を
 満る金島巖石多
 し如岸に傍る港

あり港内廣厚く
 地勢互細垂茅一の礎
 泊場と云ふ者多維多利
 互と名する人曰く是

興地誌略卷之三
 十

興地論界請守林卷二

新書原流

五子方終去於人たり
此地鴉片戦争以和
議の後亦く英領
帰一英國も鎮壓

を置て之を監督轄と
者一多の軍艦
を撃たさる海警
衛の要地とん

興地論界請守林卷二

支那を最の舊國
 として及互細
 無去身其の地方
 と昔に上古より人民

繁殖せしむ其親
 の先たるを知らん堯
 舜如世人を距る事
 四千餘年前在と

東洋書局刊

支那書局刊

雖も己を仰ぐ先
ち文物并け者
多し見ふ可
之を西海の年代

比較もまゝ羅馬
國東周桓王乃代
も在り歴山の威
表用末七國の時と

支那書局刊

支那

支

美佛諸國の如き
 當時尙野蠻猛獸
 如巢窟より邦國
 を爲し主として秦

漢の世毎々水邊匈
 奴と戦ふ匈奴の蒙
 の聖賢より山妻耶
 を侵す如きたす

魯西互を横り
 下海く歐羅巴に侵
 入し佛蘭西疆内
 まで至り又

晋文胡の亂以來
 蒙古地方の人種次
 第小域内を侵入
 邦國を建てて其大を

者、^レ遠人^キ至^シ等^シの如
 き、^レ支那本部の
 大まき^キを^レ盤^シと^レし^テ小
 多^クり^テ大^ク物^ヲ小^シ及^テて^モ

遂^ツに^モ支^チ那^ヲ全^ク國^ヲを^レ保^ヘ
 存^ス且^ツ無^ク細^シ豆^ヲ油^ヲ
 如^ク大^キ畧^ヲを^レ身^ニ定^ム
 其^ノ海^上勢^力日^々下^リの^如也

を侵^{ヲカ}せよ 今の清國^{セイコク}
も亦^モ是^{コト}右^ニ如^ク一部^ニも
も満州^{マンジュウ}より侵^ム
入^ル二百十年^ニも

明^{メイ}を滅^{ホコボ}す 韃靼^{タタリ}地^チ
方^{カタ}と昔^{ムカシ}より亦^モ是^{コト}如^ク全國^ニ
を領^{リョウ}す 都^トを如^ク
京^{キョウ}に定^{サダ}む 元^{ゲン}清^{セイ}兩^{リョウ}

朝^{テウ}々^{トモ}々^{トモ} 他國^{トモ}の種^{シノ}
 々々々々 支那^{シナ}の國^{クニ}帝^{テイ}
 々々々々 全國^{クニ}領^{リョウ}す
 々々々々 令^{レイ}制^{セイ}度^ド隨^{シテ}

々々々々 變^{ヘン}革^{カク}風^{フウ}俗^{ソク}
 々々々々 異^{コト}者^{モノ}者^{モノ}有^{アリ}辨^{ベン}
 々々々々 後^{ハツ}宮^{ミヤ}袖^{スエ}の如^ニき^キ如^ニき
 々々々々 是^{コト}者^{モノ}然^シも^モ也^{ナリ}

形を以て支那を領土
 する後其風習を漸
 深し居て外國を
 蔑視して夷狄を

獣と見做るは甚
 しきなり都て支
 那の國勢は天竺を
 等しく屬隣國の

侵掠シケンを蒙カケムり終ツるを
 併吞ヘイ呑ドンする所と為ナリま
 清國近年シケンより為ナリる勢セキ
 英國と執セシ事ジし毎ツ

敗績ハイし其セキ國威キを
 減ゲンし盟約メイの増ゾウき外
 國の侮アホリを招マコく少スクナの
 らん蓋ケダシ初度シヨの戦ケンカい

東地言界百字本卷二

東地言界百字本卷二

二十丁日前と存じ

従来^{シマ}支那^{ライ}の官吏^{カシ}

私^{ワタクシ}を行ひ美人^{ビョウジン}を愛^{ベツ}

視^シ了^{シヨウ}了^{シヨウ}倨傲^{キョウガク}の所置^{シヨウチ}

多^タ之^ノ林^{リン}則^{ソク}徐^{ジヨ}廣^{カン}系^{トン}

を^ヲ時^{トキ}も^モ及^ツひ^ヒ鴉^ア片^ハ

女^メ子^コ遊^ユを^ヲ燒^{ヤキ}尽^{ツク}

了^{シヨウ}學^{ガク}勞^{ロウ}隙^{キョク}を^ヲ開^{ヒラ}く^ク故^コふ

東地言界百字本卷二 支那 廿一

美罔エイより軍艦カシを
 發チシして津ツシより赴オモムき
 所オトシイの城郭シロを陥オトシつ後
 遂ツヒに清國シヨウコクより和ワを

乞ツツノヒひ償金キより百兩
 弗ドルラレを出デし香港ホンコンを
 割サき永エイく英領エイリョウ地
 子サ帰キし更サラも五港カウを

興州詔畧音字本卷二
 天宮書屋藏版
 興州詔畧音字本卷二
 天宮書屋藏版

開て通ふ高の地と爲
 くと聽と廣東厦
 門福州寧波上海是
 たり其後十七年廣

高と於て支那雇奴
 の美船に存る者を支
 那の官吏に捕獲
 せしむる遂に兵端を閉

東地誌畧附字本卷二

きく支那人美の商
 館を焼く故に美の
 軍艦亦あるの地
 臺を毀ち廣東を

燒夷も亦其の如く
 清國又亦多の償金
 を出改る條約を
 結し和を締せり十一

支那通商手帳

支那

支那

支那通商手帳

手前更に改心カイを
 する條約を此コ京キンに於て
 重修ケヨウの爲ニ美ニの使シ
 節セツ天津ニを爲スる事ト

人欺アサミ之ノを江中ニ
 進シン入ニせし見テ不可クをシるニ觀シ
 擊ゲキせしより美人
 死シする者多クく使シるニ

も候^{ワツカニ}よ、方^{カタ}を以^{もつ}て朕^{ミコ}
 まで至^{いた}りし時^{トキ}佛^{ブツ}
 國^{クニ}の女^メ皇^{ミコ}も亦^{また}苦^{くる}
 此^こ難^{ナン}を懼^{おそ}るふ因^{ゆゑ}りし

聖^{ヨク}年^{ネン}英^{エイ}佛^{フツ}合^{カフ}今^{イマ}
 て二^ニ萬^{マン}の兵^{ヘイ}を發^{はつ}
 軍^{グン}艦^{カン}を以^{もつ}て直^{タジ}天^{テン}
 津^{シム}の港^{ミナト}へ上^あ陸^{りく}

今 滿州に兵を我
 ひて之を敗つて太
 治の地臺を陷つて
 軍を進めて北平に

通に属滿州を敗り
 北平の軍に兵を燒
 けし時清帝は滿
 州の地方に進出

東鑑 卷之三

其弟^{テイ}恭親王^{キヤウ}和^{リン}色
 美佛^{ミフツ}之^シ乞^キ少^シ子^コ
 二百^{ニヒヤク}之^シ帑^{トウ}之^シ償^{シヤウ}金^{キン}
 出^シ前^{ゼン}之^シ閩^{ミン}之^シ子^コ

五^ゴ港^{カウ}之^シ外^{ガイ}更^シ之^シ生^{シヤウ}莊^{チュウ}
 登^{トウ}州^{シュウ}台^{タイ}灣^{ワン}浙^{シヤウ}州^{シュウ}瓊^{チュウ}
 州^{シュウ}等^{トウ}之^シ港^{カウ}之^シ閩^{ミン}之^シ及^{キヤク}
 了^{リウ}其^キ他^タ之^シ東^{トウ}南^{ナン}國^{クニ}

正形勢ケイ之請キ而ハ盜トウ
 賊ソク呼ホウ起キ者ツ言ハ
 種オン之子シ少シ在シ其キ家カ
 大ダイ在シ者シヤ長ハク換ク賊ゾク

種オン之子シ少シ在シ其キ家カ
 大ダイ在シ者シヤ長ハク換ク賊ゾク
 種オン之子シ少シ在シ其キ家カ
 大ダイ在シ者シヤ長ハク換ク賊ゾク
 種オン之子シ少シ在シ其キ家カ
 大ダイ在シ者シヤ長ハク換ク賊ゾク

東洋地誌 卷之三

支那

多々 終に 南京ナシを 偏キン
り 大なる 王と 稱シヤウす
る 者 此 都ニヤウし 西隣キン
を 奪ダツ掠リヤクし 其 凶ク 殘エン

寧波ニシ 上海ポーの 海シヤンの 邊ハイに 及
ひ 十 海シの 子シを 羅シす
手シに 能シく 能シく 能シく
美イギリス 米アメリカの 主シ 官シ 支シ 那シ

東洋地誌 卷之三 支那

政^{セイ}有^フの冬^{フイ}よ力^{チカラ}を載^{アハ}
 せ統^{トウ}よ之^ノを鎮^{チン}壓^{アツ}を
 する^{スル}

東地徳田若按草習字中巻二終

